

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
210008	X-01-A-1-210008	2	集中 (後期)	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
国際経済学	中尾 将人			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	選択	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年
授業目的							
為替レートの決定理論や企業財務における外国為替のやり取り、国際経済の歴史を学ぶことで、実社会でも役立つ知識を得ることが本講義の目的である。							
各回の授業内容							
第1回 【授】 為替レートと経済活動 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『はじめて学ぶ国際金融論』の1章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。				第9回 【授】 アジア通貨危機と世界金融危機 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『現代の国際金融を学ぶ』の8章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。			
第2回 【授】 外国為替市場と為替制度 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『はじめて学ぶ国際金融論』の2章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。				第10回 【授】 グローバル・インバランス 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『現代の国際金融を学ぶ』の10章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。			
第3回 【授】 購買力平価 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『はじめて学ぶ国際金融論』の3章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。				第11回 【授】 アジア通貨システムの改革と人民元の国際化 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『現代の国際金融を学ぶ』の11章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。			
第4回 【授】 金利平価 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『はじめて学ぶ国際金融論』の4章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。				第12回 【授】 EU経済 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『現代ヨーロッパ経済』の1章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。			
第5回 【授】 マネタリー・モデル 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『はじめて学ぶ国際金融論』の5章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。				第13回 【授】 EUの単一市場 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『現代ヨーロッパ経済』の2章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。			
第6回 【授】 効率的市場とマイクロストラクチャー 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『はじめて学ぶ国際金融論』の6章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。				第14回 【授】 ユーロ危機 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『現代ヨーロッパ経済』の4章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。			
第7回 【授】 為替介入 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『はじめて学ぶ国際金融論』の7章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。				第15回 【授】 ユーロ危機への対応策 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『現代ヨーロッパ経済』の5章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。			
第8回 【授】 国際財務活動 【前・後】 事前学修(2時間程度)：『現代の国際金融を学ぶ』の7章を読む。 事後学修(2時間程度)：配布資料を読み直す。				第16回 【授】 定期試験 【前・後】 事前学修(2時間程度)：これまでの配布資料を読み直す。 事後学修(2時間程度)：試験出題箇所を読み直す。			
成績評価方法							
小テスト 10点×4+総まとめテスト 30点+講義後課題 15点+講義への貢献 15点で評価する。 小テストと講義後課題については、講義内にて解説を行う。							
教科書・参考書							
教科書は特に指定しない。 ただし、以下の参考書をベースとして講義を行う。 [1]永易淳・江坂太郎・吉田裕司『はじめて学ぶ国際金融論』有斐閣ストゥディア [2]中条誠一『現代の国際金融を学ぶ』勁草書房 [3]田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治『現代ヨーロッパ経済』有斐閣アルマ							
受講に当たっての留意事項							
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の国際経済情勢に関して、新聞等を通じて目を通しておくこと。 ・指定された時間以外の講義中のスマートフォンの使用を禁止する。 ・講義中は私語厳禁。 							
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×							×
学習到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・外国為替のしくみを説明できる。 ・為替レートの決まり方について説明できる。 ・国際経済の歴史を踏まえて、経済危機への対策を考察できる。 							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習